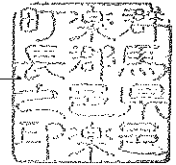


呂土発第237号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

呂楽町長 金子 正
(土 木 課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、平素より道路事業に対するご指導、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先般依頼のありました、「今後の道路行政についての意見・提案」につきまして、別紙のとおり回答いたしますので、ご査収ください。

担当：土木課 工務係
主任 橋本 光規
tel.0276-47-5030（直通）

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

群馬県邑楽町

道路特定財源の一般財源化については、本年5月の閣議決定をもって既に決定事項であるが、必要な道路の整備が完了していかない地方にとつては誠に遺憾である。今後「必要なら道路に整備する」との閣議決定に基づき、予定されている道路整備に配慮した財源措置を望む。

また、本来目的は、道路特定財源を一般財源化することにして、必要なら、納税者への説明と、国から、行政における道路整備が見えてくる。我が自治体の置かれてきたとき、国から、行政における道路整備が見えてくる。

- ① 医療、産業、文化など多方面にわたるため、地方で中核を担う都市との格差を解消する
- ② た地整の既歩を
- ③ ④

これら地方の執行が踏まえて、今後も重点的、且つ効率的な「都市と地方とが共存を図る道路行政」を

今 後 の 道 路 行 政 の 現 状 と 抱 え る 意 見 ・ 提 案

○現状 町の一般道路概況（平成20年3月31日現在） 一都府県道改善率：100.0% 都市道改善率：53.26% 都市計画道路改善率：35.48%（国道含む）	○課題 ・左記にあっては改良済みと道路改良はあり、歩道整備やバリアフリー化の進捗は著しく遅れている。 ・また、多くの路線で右折車線の設置など、渋滞緩和策も図られていない。 ・都市計画道路の多くは決定から20年経過し、その進化の進捗が思わしくなく、用地取得の難航などが、必要となる。 ・本町、セクア地域自動車道整備が遅れている。
--	---

地方交付税に よる所得再配分の神話の崩壊した今、地方は自主財源の下に努力がなえられねばならぬ。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

で小務観
難最急景
困のはき
ら域みべ
す地組る
と。りあ
こる取と
るなの全
すとへ保
持題業の
維課事土
をもト国
準理フ、
水管ソて
行持たっ
現維つよ
はのなに
資等とと
投路体こ
の道一す
へ存方返
本既地に
資の・域
会長国地
社延、を
、なも事
り大にき
よ膨めべる。
にたたうえ
化れす行考
直さ促でと
硬備を域
の整立地れ
政は自来ら
財後治本図
、今自。が
た、のる持
まり位あ保
あ単での

今後の道路行政について
③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価）
群馬県邑楽町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価	○ その他
活力分野 ・ 国際競争力の向上 ・ 交通の円滑化	・ 地方道路交付金事業 19号線	・ 国道50号と連携した物流のネットワーク化	・ バイパスの渋滞緩和 ・ 市街地の活性化
暮らし・環境分野 ・ 少子高齢化に対応 ・ 子育て環境の整備	・ 地方道路交付金事業 6号線	・ セミフラット及び透水性舗装による歩道の整備	・ 国道の完成 ・ 土地の活用 ・ 農業用地の確保 ・ 河川の整備
安全分野 ・ 大規模な地震、火災、土砂災害等	・ 利根川新橋（仮称）	・ 災害時のライフライン（水道、ガス、電気）の確保 ・ 国道407号（昭和橋）の増強 ・ 国道122号（昭和橋）の増強 ・ 災害時のライフライン（水道、ガス、電気）の確保	・ 団誘 ・ 工業団地の整備 ・ 企業の誘致